

令和5年度 研究推進部研修計画

2023. 4. 7

研究推進部

1. 本年度の研修テーマ

言語活動を取り入れ、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる力を養う授業の工夫を目指す

昨年度、研修テーマを「タブレットを効果的に使う授業の工夫を目指して—子どもの「伝える」「知る」、そして「学び合う」を目指して—」に設定し、研究授業・研究協議および ICT に関する研修を行った。教師は研修を受けながら、子どもたち自身が「伝え合う」を実感できる授業を目指した。タブレットが導入されてからの約二年間、タブレットを使用した授業を各教科で取り組んできた。ロイロノートの付箋を使って、自分の考えを書くことにも慣れてきた児童が多い。ノートに文字を書くことに苦手意識を持つ児童も、音声入力や手書き入力でも前向きに取り組むことができるようになってきた。教師側も書いた意見を一斉に共有できることや写真・動画を効果的に使って伝えられるという便利さも実感できた二年間であった。しかし一方で、子どもたちの実態から、「自分の意見や気持ちを伝えること」に弱さを感じる子が一定数いることを実感した一年間でもあった。子どもたちが自分の考えや気持ちを相手に十分に伝えられていないために、日常生活の中でトラブルになることがあるように感じる。単に語彙力が少ないだけでなく、自分の考えを言ったり、相手の話を聞いたりすることの機会が少なくなってきたように思う。

そこで、本年度は研究教科を「国語科」にし、研修テーマを「言語活動を取り入れ、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる力を養う授業の工夫を目指す」と題して、研修を進めることとする。小学校学習指導要領解説国語編の第1節「国語科の目標」には、国語を適切に表現し理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てると記載されている。また、各学年の観点別目標を見ると、下図のように2学年のまとまりごとに、示している。そこで、本校の目標として、低学年では自分の考えを持ち、それを伝え合うことの良さに気づき、楽しく学び合うことを目指す。中学年では、自分の考えをまとめ、それを伝え合うことの良さを知り、進んで学び合うことを目指す。高学年では、自分の考えをさらに広げ、伝え合うことの良さを生かし、ともに高め合おうとすることを目指す。

今年度の国語科の研究では、本校児童の実態から「A話すこと・聞くこと」の領域に焦点を当て、表現力の向上を中心に取り組んでいく。具体的には教師が次の二点に重点を置き、研究を進めていく。一点目は、より良い話し方・聞き方が身に付き、主体的に自己を表現できるようになるために、国語科の「話すこと・聞くこと」を中心とした言語活動において、話す内容を可視化したり、発表の仕方や要点等に気付かせる支援の仕方を工夫したりすることである。二点目は、伝え合うことの喜びや楽しさを感じ、表現することへの意欲を高めるために、身に付けた技能を生かして自分なりの考えを伝えたり、交流を通して仲間と学び合ったりすることにより、「人との関わり」を大切にしたい授業展開を行うようにする。以上二点の重点をもとに、言語活動を取り入れ、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる力を養う授業の工夫を目指し、研修を深めていく。

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
知識及び技能	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
人間性等 学びに向かう力、	(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2. 研修内容

- ・学校全体で学習成果を共有できる環境づくりを進める。
- ・1,2学期末の児童アンケートを踏まえ、2学期、3学期に重点単元を決める。具体的な実践内容を決め、研究の柱に沿って研究を進める。
- ・各学年の取り組みは、授業公開時の研究協議で報告・意見交換し合い、年度末に実践報告をする。
- ・1,2学期末に行う児童アンケートや保護者アンケートの結果の考察をする。

3. 研修体制について

- ・研修グループは、1～3年の低学年部・4～6年の高学年部で取り組む。専科・特別支援、少人数は各学年に入る。研究紀要は各学年と専科と特別支援の三つに分かれてまとめる。
- ・全体研修の授業公開は、2学年が行う。全体研修で授業公開を行わない学年も、授業公開を行う。その際、授

業公開の略案は全員に配布し、学年間で連携し参加できるようにする。

- ・研究協議を行い、講師を招聘する。
- ・職員間で積極的に授業を見合い、互いに研修に励む。
- ・作成、使用した教材はJパソコンの学年フォルダーもしくはグーグルドライブのICT 東小学校の授業・行事引継ぎ資料に入れる。

4. 研究紀要について

- ・Kパソコンに保存し、次年度以降も活用できるようにする。

5. 研修計画案

月	日	曜日	予定	内容
4	24	月	職員研修①	推進計画全体提案・支援が必要な児童について
5	8	月	職員研修②	人権・特別支援研修 ～子どもをみつめて①～ ・通級指導教室について
5	15	月	臨時研修	生徒指導について
5	17	水	職員研修③	市人教総会
5	24	水	職員研修④	救急法講習
6	7	水	職員研修⑤	市教振教科部会
6	21	水	特別支援研修	通級指導教室について
7	24	月	職員研修⑥	
11	22	水	職員研修⑦	全体研修 研究授業
12	6	水	職員研修⑧	全体研修 研究授業
1	17	水	職員研修⑨	市人教研究大会
2	21	水	職員研修⑩	人権・特別支援研修 ～子どもをみつめて②～
2	28	水	職員研修⑪	各学年実践報告

備考

土曜参観 6月3日(土)

運動会 10月21日(土)

オープンスクール 11月1日(水)

野外活動 11月8日(水)～11月9日(木)

修学旅行 11月16日(木)～11月17日(金)